

2024年度 神戸市立学校園教員採用選考試験
特別選考 「模擬授業」実施要領

神戸市教育委員会事務局
総務部教職員課

1. 模擬授業対象者 受験者の全員に対して、個人面接日に模擬授業を実施する。

2. 学習指導略案の作成と提出

(1) 様式 裏面の「様式例」に基づいて作成する。(★基本情報を含む)

(2) 選択教科等

選考区分	選択する教科等	指導略案
小学校教諭	小学校高学年（5・6年生）を対象とした授業とし、 教科は「国語」「算数」から選択して行う。	1 単位時間分 A4版1枚 <u>(必ず片面のみ)に</u> <u>まとめる。</u> ※小学校選択の場合は、 45分設定 ※中・高校選択の場合は、 50分設定
中学校・ 高等学校教諭	「出願教科」	
特別支援学校教諭	特別支援学校における集団で行う授業を設定する。 志願している校種・教科に応じて、「教科等を合わせた指導」又は「教科別、領域別の指導」を行う。	
養護教諭	小学生又は中学生を対象とした授業とし、学年設定は自由。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	
栄養教諭	小学生を対象とした授業とし、学年設定は自由。 教育課程上の位置付けも考えて、単元や内容等を選択して行う。	

(3) 略案提出日時：2023年12月21日(木)正午必着で下記提出先へ郵送(簡易書留)すること。

提出先：〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3

神戸ハーバーランドセンタービル ハーバーセンター4階

神戸市教育委員会事務局 総務部教職員課 任用担当

期限までに提出がない受験者は、受験できません。

3. 模擬授業の実施

(1) 授業場面 受験者が作成した指導略案の中から、
当日面接官が指定する場面状況に応じて授業を行うものとする。

(2) 実際の時間 2分程度

(3) 留意事項

- ① 面接室へ入室後、挨拶の後に実施する。
- ② 模擬授業中は、可能な限り黒板（またはホワイトボード）を使用すること。
・チョークは白・赤・黄、マーカーは黒・赤・青を準備予定
- ③ 授業開始の挨拶やプリント配付など、授業内容と直接関係ない行為はしない。
- ④ 教材教具の持ち込みは一切できない。
・教材教具が必要な場面では、それらが「あるもの」として授業を行う。
- ⑤ 教室に子供がいるものとして、発問や説明、指示、板書等を進める。

※面接官が子供（児童生徒）の役割を担う。

◆学習指導略案の様式例

(1)選考区分、教科、名前、学年、設定した単元の教科・領域等を**必ず記入**する。

(2)下記の指導略案は**様式例**であり、各項目等の設定は自由。用紙の両端は**1.5cmの余白**をとる。

(3)手書きでもパソコンでも可。モノクロ写真やイラストなど資料を縮小して貼り付けてもよい。

★基本情報			
受験番号	選考区分	教科	
面接日時	月	日	時 分
小、中・高、特支(小)、特支(中高)、 養護、栄養のいずれかを記入。		記入不要	受験教科を記入。小学校、特支(小)、 養護、栄養は記入不要。
第 〇 学年 〇 〇 科 学 習 指 導 略 案			
1. 単元(題材)名 2. 単元(題材)目標 ・		(全 時間)	
3. 本時の学習 (/ 時間)		教科でない場合は、別の表 記に変えること。	
① 目標 ・		※様式例に沿って、A4版1枚(必ず片面)にまとめる。	
② 過程(展開)			
子供の活動と内容		教師の支援と留意点	
1.			
2.		注) 実際に授業を行う場面は、当日面接官が指定する。(2分) ※ 基本的には、子供の「活動」を教師はどう「支援」するのか、 また、実際に学ぶ「内容」に教師はどのように「留意」するのか、 という観点で作成する。但し、別項目を設定しても可。	
3.			
4.		ここでは「4分節」としているが、あくまでも例示であるため、変更してもよい。	
【評価規準】 本時の目標が、達成されたといえる 子供の学びの姿(学習状況)を記入する。 注) 分節ごとの評価ではなく、1単位時間 の評価規準として考える。評価の観点や 方法等の記載については自由。		【評価規準】	